

都市建設委員会 所管事務調査事項 提案一覧表

No.	テーマ	調査理由等
1	自転車政策について	<p>本年4月より自転車に交通反則通告制度、いわゆる「青切符」が導入され、自転車の交通安全ルールがあらためて注目されている。一方で自転車走行環境の整備をはじめ、自転車に関するインフラ整備が追いついていない現状があり、これは都市部の地方自治体共通の課題となっている。</p> <p>そのような中で京都市、堺市など自転車を活用したまちづくりに早くから取り組んでいる自治体があり、先進事例および、特に自転車走行環境の整備を中心に調査を実施する必要があると考える。</p>
2	未来を見据えた都市づくりについて	<p>現在、本市においては、人口が増加する一方で、高齢化の進行や地域ごとの課題、市民の移動手段の確保、地域のにぎわいづくり、都市基盤の維持・更新、民間活力を生かしたまちづくりなどへの対応が求められている。</p> <p>課題の解決に当たっては、道路や公共交通などの都市基盤のありかたに加え、自動運転を含む次世代交通、官民連携による実証実験、暮らしやすさとにぎわいを両立するまちづくりについて、先進事例を調査する必要がある。</p> <p>このことから、未来を見据えた都市づくりについて調査する必要がある。</p>
3	官民連携による都市基盤の再整備について	<p>本市ではマリンスタジアムの再整備構想をはじめとした施設の更新期を相次いで迎えており、市債の発行や一般財源から繰り入れなど、中長期的な財政負担の増大が極めて深刻な課題となっている。</p> <p>そのため、今後の本市の都市・建設行政において官民連携による都市基盤の再整備の適応可能性を調査する必要がある。</p>
4	地域公共交通の利用促進策について	<p>地域公共交通においては、バスの運転手不足を契機とした路線廃止、減便が相次ぎ、市民の移動に支障をきたす深刻な事態となっている。</p> <p>政令市の多くは、高齢者等がバスに乗車する際の運賃割引、いわゆるシルバーパスを導入して、バス利用者の増加につながっている。他にも、高齢者の外出促進は介護予防効果があること、外出時の購買活動の増加に伴う経済効果も大きい。</p> <p>以上のように、事業効果が大きい事業となるため、先進自治体の取組調査から、本市で可能となる利用促進策を検討・提言すべきと考える。</p>
5	道路・上下水道インフラの老朽化対策と持続可能な維持管理について	<p>現在、大都市では道路橋梁の長寿命化が問題になっている。千葉市の道路・上下水道の老朽化対策については、高度経済成長期(1960～1980年代)に整備されたインフラが更新時期を迎えていることが最大の課題です。千葉市では、道路、橋梁、下水道管、水道管などの老朽化対策を計画的に進めていますが、財源・人材・施設数の増大が大きな問題となっています。</p> <p>このことから、老朽化対策について調査する必要があると考える。</p>

6	中心市街地と副都心の活性化について	<p>千葉駅周辺及び幕張新都心、蘇我駅の核となる街においては、地域経済活性化や魅力向上につなげ、他都市との差別化に努める必要がある。</p> <p>民間活力などにより、滞在快適性、回遊性を高めるなど、ハード・ソフト両面での活性化策を進めているが、その効果等を確認し、さらなる発展につなげる。</p>
7	人口減少社会に対応した都市拠点形成と持続可能なまちづくりについて	<p>現在、各都市では人口減少・少子高齢化の進展に伴い、住宅地の人口構成の変化、地域商業機能の低下、公共施設や都市インフラの維持管理費の増大など、様々な都市課題を抱えている。</p> <p>こうした状況を踏まえ、将来にわたり持続可能な都市経営を実現するため、都市機能の適正配置や拠点形成のあり方について調査研究をする。</p> <p>主な調査項目として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間活力を活用したまちづくり ・コンパクト・プラス・ネットワークの考え方
8	まちづくりについて	<p>今後の千葉市は、魅力をUPする施策が必要。そのために、中心市街地である千葉駅・幕張・蘇我の周辺のまちづくりが重要になることからこのテーマで提案する。</p>
9	歩行者優先のまちづくり	<p>千葉駅周辺の活性化グランドデザインが発表され、ウオーカブルなまちづくりを目指すとされている。</p> <p>川越市なども一番街の歩行者天国の社会実験を行うなど大胆なまちづくりをしている。</p> <p>市民や千葉市を訪れた人々が、千葉市のまちを周回し、経済が回る仕組みを考える必要がある。</p>
10	千葉駅周辺・幕張新都心・蘇我地区における魅力あるまちづくりの推進について	<p>千葉市では、千葉駅周辺、幕張新都心、蘇我地区をはじめとする拠点地区において、それぞれの地域特性を生かしたまちづくりが進められています。一方で、人口減少や少子高齢化の進展、ライフスタイルの変化などにより、誰もが安全で快適に移動できる交通環境の整備や、にぎわいの創出、居心地の良い公共空間の形成などが求められています。</p> <p>また、歩いて楽しめるまちなか空間の創出や公共交通との連携、子育て世帯や高齢者、障害のある方を含めた誰もが利用しやすい環境整備は、今後の持続可能なまちづくりを進める上で重要な視点となっています。</p> <p>そこで、本市の主要拠点におけるまちづくりの現状と課題を整理するとともに、先進自治体の事例を調査し、市民に選ばれる魅力あるまちづくりの推進について調査研究を行うものです。</p> <p>【主な調査項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 千葉駅周辺地区のまちづくりの現状と課題 2 幕張新都心におけるにぎわい創出と回遊性向上 3 蘇我地区における拠点形成と地域活性化 4 ウオーカブルなまちづくりの推進 5 公共交通と連携したまちづくり 6 高齢者、障害者、子育て世帯に配慮した公共空間整備 7 先進自治体の取組事例と本市への導入可能性